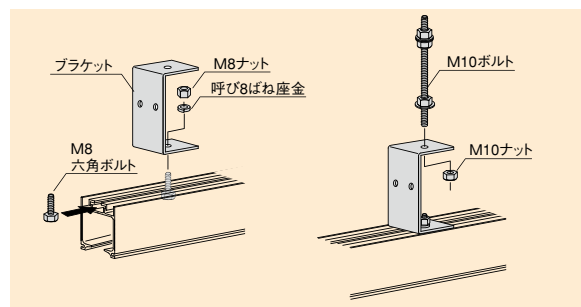


マテハン用部品 (MTH2型/MTH3型) 施工方法

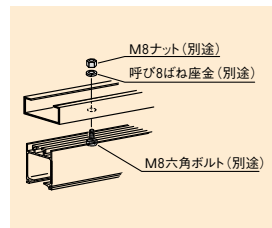
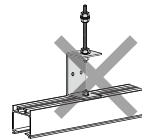
Material Handling



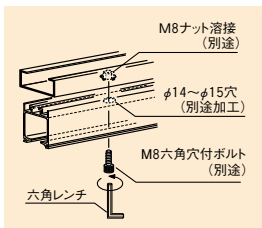
アルミレール、ブラケットの取付け

- ブラケット付属のM8六角ボルトをレール上溝部にセットし、ナット、ばね座金でブラケットを固定してください。
 - M10ボルトをブラケット上部にナットで取付け、ボルトを躯体に取付けてください。
- ※通常ブラケット取付けピッチは1000mm以下となります。ジョイント部はピッチ100mm以下で取付けてください。

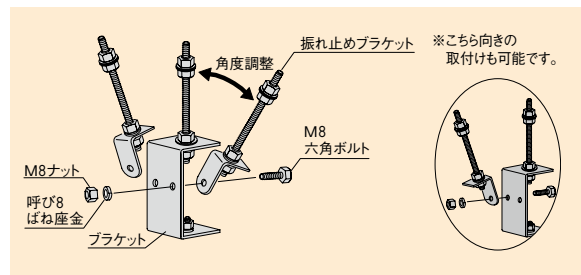
※注意:ブラケット (MTH3-B) は右図の様な向きでは取付けしないでください。
横振れに対し弱くなります。



- レールを直付けすることも可能です。M8六角ボルトをレール上溝部にセットし、ナット、ばね座金で躯体に取付けてください。

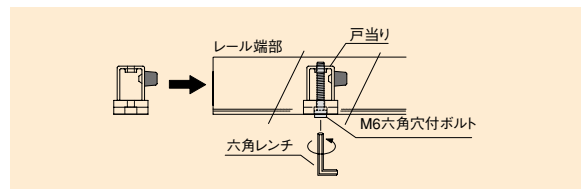


- レール天井部にφ14～φ15穴加工を行います。あらかじめ躯体にナット溶接を行います。M8六角穴付きボルトで取付けてください。



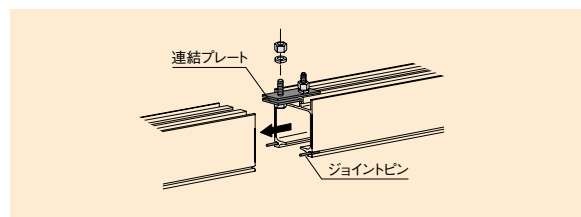
振れ止めブラケットの取付け

- 横振れが大きい場合には、振れ止めブラケットをブラケットにM8六角ボルト、ナット、ばね座金で取付け、角度調整を行い躯体に取付けてください。



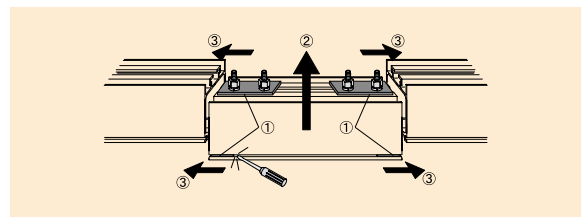
戸当りの取付け

- 戸当りをレール端部よりあらかじめレールに挿入してください。
 - 単車、複車を止めたい位置に戸当りを移動させ、六角レンチで固定してください。
- ※戸当りはレール下部から挿入できません。



ジョイントの取付け

- 連結するいずれか一方のレール上部に連結プレートを、下部ピンホールにジョイントピンを半分程度挿入し、他方のレールと接合してください。
- ※ジョイントピンの挿入がかたい時は、ピンを調整してご使用ください。
- レールを左右に動かさない場合は、一方のレールに連結プレート、ジョイントピンを全部挿入し、レールの位置合わせ後に連結プレート、ジョイントピンを移動させてください。



脱着レールの取付け方法

- ①取付時、あらかじめ脱着レール内側に連結プレート、ジョイントピンを挿入しておきます。
 - ②脱着レールの位置合わせを行います。
 - ③連結プレート、ジョイントピンを連結部中央まで移動させ連結させてください。ジョイントピンをスライドさせる時はマイナスドライバー等でジョイントピン端部をたたき、移動させてください。
- 取り外す場合は逆の手順となります。取り外した場所から単車、複車の交換が行えます。

- ⚠
- 使用荷重範囲を超える荷は絶対に吊らないでください。
 - 吊った荷に人は乗らないでください。また人が乗る用途には絶対に使用しないでください。
 - 吊り荷の下や吊り荷が動く範囲に入らないようにしてください。
 - 荷を揺らせるような操作はしないでください。
 - 斜め引きをしないでください。
 - 屋外での使用は避けてください。
 - 定期的にナットの緩みを確認し、増し締め等を行ってください。
 - 樹脂車の削れ粉が発生する場合がありますのでクリーンルーム等での使用は避けてください。